



# もりがく県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

大型クルーズ船誘致へ

## 護岸工事は今年度完成予定



登壇して地域問題を訴える森県議

**森議員** 木更津市では、「みなとまち木更津プロジェクト」を立ち上げ、大型外航クルーズ船寄港に向けた実証実験として、昨年に続き「ぱしふいくびいなす」というクルーズ船で、

**みなしとまち木更津**  
漁業問題を取り上げました。ほかにも、児童養護施設への支援策、高齢者福祉問題、DNA研究所の研究成果など、幅広く地域の課題に言及し、森田知事ら県執行部の姿勢をただしました。

この中で森田知事は、大型外航クルーズ船の寄港を通じて「木更津港を活用した地域振興が図れるよう、地元市と連携して取り組んでいく」と力強く答弁しました。森田知事の質疑を特集しました。

和歌山県の新宮に向けたツアーや開催する予定としており、今年度もほぼ完売で数部屋を残すのみとなっています。

クルーズ船の会社からは、近傍にはアウトレットモールや大型スパ施設、体験できる観光施設も多く魅力的だ

と高い評価をいただいています。ですが、誘致を決めるにあたっては、いつからクルーズ船が着岸できるかが重要な要素の一つです。

そこで伺います。木更津港でのクルーズ船受け入れ環境の整備状況はどうか。

森議員 木更津南部地区では、既存岸壁を有効に活用してクルーズ船を受け入れるため、国が平成28年度から改良工事を行っています。大型外航クルーズ船の寄港を通じて、港を活用した地域振興が図られるよう、地元市と連携して取り組んでまいります。

木更津港の港湾管理者である県も、市と協力して、

## 9月県議会一般質問に登壇

# ホテルシップ停泊も提言

あるいは民間活力の導入も視野に入れながら、クルーズ船の誘致に努めています。

## 五輪の宿泊需要に対応

木更津港は、昨年度、ホテルシップの候補地として国から選定を受けています。ホテルシップとは、長期間にわたりクルーズ船を

停泊させ、ホテルとして活用することであり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの宿泊需要対策としての国の施策です。

森議員 木更津港では、木更津南部地区の岸壁において、ホテルシップの受け入れを検討しています。

この岸壁は、現在、木材や中古自動車などが多く取り扱われており、ホテルシップ

が長期の停泊を行うために、港湾利用者との調整が必要です。

そのため、受け入れ対象となる船舶としては、一般貨物船が同時に係留できよう、5万トン級以下で長さ200メートル程度の船舶を想定しているところです。

## 児童養護施設への支援策

森議員 児童擁護施設が入所児童に対する十分な支援を行なえるよう、職員配置に関し、県としてどのような支援を行っているのか。また、今後支援を拡充すべきと考えるがどうか。

オリンピックの開催までにもう2年を切っています。スピード感を持って市や関係機関と調整、検討を進めてもううよう要望します。

本県は、虐待事務の重要性を増しています。今後支援を拡充していくべきと答弁もありました

が、是非とも県としても愛情を持つて後押ししてほしいと思います。

**要望** 木更津市では、国内クルーズ船の実証運航を実施し、その結果も踏まえながら、引き続き大型外航クルーズ船の誘致や受け入れ体制の整備に努めています。

木更津港の港湾管理者である県も、市と協力して、職員配置への支援拡充に

施設入所児童の処遇向上のため、児童擁護施設が国の人件費を超えて児童指導員などの直接処遇職員を雇用した場合、1施設につき1人分の人件費を補助してあります。昨年度は10カ所の児童養護施設に補助を行ったところです。

本県は、虐待事務の重要性を増しています。今後支援を拡充していくべきと答弁もありました

が、是非とも県としても愛情を持つて後押ししてほしいと思います。

## ●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

**森岳** 県議事務所  
TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051  
URL [www.mori-gaku.jp/](http://www.mori-gaku.jp/) E-mail [info@mori-gaku.jp/](mailto:info@mori-gaku.jp)

# 希望の持てる水産業の確立訴え!



9月県議会に登壇した森岳県議

要望  
の漁業者は  
未だに生活ができる  
水準まで収入を得て  
いないというのが現  
状です。国としっかり連携し、有効な  
貧酸素水塊対策を打ち出していくだけ  
でなく、希望の持てる  
水産業の確立に向け  
てさらなる支援をお  
願いします。

**農林水産部長** 酸素濃度が著しく低い貧酸素水塊は、毎年5月から10月頃まで、東京湾の内湾の中央部から北部にかけて、底層を中心につつまれます。

木更津地先の漁場では、気象条件や潮流によって、貧酸素水塊が沖合から千潟の周辺部まで広がり、また、三番瀬漁場ではこれが表層

で、東京湾における貧酸素水塊の漁業への波及状況と漁業への影響はどうか。

**農林水産部長** 酸素濃度が著しく低い貧酸素水塊は、毎年5月から10月頃まで、東京湾の内湾の中央部から北部にかけて、底層を中心につつまれます。

木更津地先の漁場では、気象条件や潮流によって、貧酸素水塊が沖合から千潟の周辺部まで広がり、また、三番瀬漁場ではこれが表層

で、東京湾における貧酸素水塊の漁業への波及状況と漁業への影響はどうか。

**農林水産部長** アサリをはじめとする貝類の水揚げ量を回復させることは、東京湾の漁業振興を図る上で重要です。そのため、アサリは稚貝の保護や害敵生物の駆除などの取り組みを支援するとともに、稚貝の効果的な育成技術の開発も進み、また、ハマグリについても放流用種苗の量産化に向

**森議員** 東京湾における貝類漁業の振興に向けて、より一層の取り組みが必要と考えるがどうか。

**農林水産部長** アサリをはじめとする貝類の水揚げ量を回復させることは、東京湾の漁業振興を図る上で重要です。そのため、アサリは稚貝の保護や害敵生物の駆除などの取り組みを支

援するとともに、稚貝の効果的な育成技術の開発も進み、また、ハマグリについても放流用種苗の量産化に向

## アサリの生産量減少

コなどの底生生物だけでなく、泳ぐ力が弱い幼魚は逃げなくなるほか、三番瀬漁場では、青潮となつて死亡するアサリが大量に死んでいます。

**森議員** 津市中心部に隣接する請西地区は、人口が増加し、市内では33年ぶりに新たなる小学校が開校しました。

この請西地区を通過する主要な道路としては、

都市計画道路草敷潮見線があり、昨年9月の開通とともに、千束台の「街びらき」に合わせ、隣接する区間の道路が整備されたところですが、一部未整備区間が残っていることから、大きく迂回しているのが現状となっています。

今後とも市と連携を図りながら、地元の皆さまのご理

解とご協力をいただき、事業を推進してまいります。

## 貧酸素水塊が深刻な影響

本県では、青潮となつて波及することがあります。

この貧酸素水塊が分布する海域では、トリガイやシャ

コなど底生生物が逃げられなくなるほか、三番

瀬漁場では、青潮となつて

アサリが大量に死亡するこ

ともあるなど、本県の漁業に大きな影響を与えているところです。

コなどの底生生物だけでなく、泳ぐ力が弱い幼魚は逃げなくなるほか、三番瀬漁場では、青潮となつてアサリが大量に死亡するこ

ともあるなど、本県の漁業に大きな影響を与えているところです。

アサリが大量に死亡するこ

ともあるなど、本県の漁業に大きな影響を与えているところです。

## 木更津末吉線バイパス

**森議員** 木更津市内整備部長 岡田木更津末吉線は、木更津市を東西に横断する重要な道路であり、整備済みの都市計画道路草敷潮見線に続く、木更津市千束台から請西までの0・6キロについてバイパス整備を進めています。

県では、平成28年に地元説明会を行い、昨年度から木更津市の協力を得て、用地取得に着手したところであ

り、今年度も継続して取

り組んでいるところです。

今後とも市と連携を図りながら、地元の皆さまのご理

解とご協力をいただき、事業を推進してまいります。

今後とも市と連携を図りながら、地元の皆さまのご理

解とご協力をいただき、事業を推進してまいります。

今後とも市と連携を図りながら、地元の皆さまのご理

解とご協力をいただき、事業を推進してまいります。

## 地域密着型サービス

**要望** 得を進めていただ

くとともに、早期に工事着手で

きるよう、事業を推進してい

ただくことを要望します。

定期巡回・随時対応型訪

問介護看護で2・4倍、地

域密着型通所介護で1・3

倍など、増加が見込まれ

ています。

**要望** 地域密着型サービスの增加見込みに対応するため、市町村と連携しながら、地域密着型サービス事業所に対しても、整備費を充実させる必要がありますが、どう

か。

農業分野では、トマト、

イチゴ、大根といった園芸作

物のゲノム情報や分析ノウハウ

を民間事業者等に提供す

ることにより、品種改良の

加速化を支援しています。

また、医療分野では、解

析技術を生かして、昨年8月に開始した希少難病の遺伝子的検査では、現在、全日本で普及率が最も高い

DN A研究 所では、これまで培ってきた研究成果や解

析技術をもとに、近年、農業、医療等の分野でその応用化・実用化を進めてまいりました。

D N A研究所では、これまで培ってきた研究成果や解

析技術をもとに、近年、農業、医療等の分野でその応

用化・実用化を進めてまい

ました。

農業分野では、トマト、イチゴ、大根といった園芸作

物のゲノム情報や分析ノウハウ

**要望** 引き続き、用地取  
得を進めていただ

くとともに、早期に工事着手で

きるよう、事業を推進してい

ただくことを要望します。

定期巡回・随時対応型訪

問介護看護で2・4倍、地

域密着型通所介護で1・3

倍など、増加が見込まれ

ています。

県としては、こうしたサ

ービスの增加見込みに対応

するため、市町村と連携しながら、地域密着型サービ



9月県議会の全景

## 木更津へMICE誘致を

**要望** 木更津へMICE誘致を

るよう取り組んでいます。

中でも、観光庁から国際

会議観光都市として認定を受けている千葉市、成田市、木更津市、浦安市とは国内外での展示会への出展、キーパーソンの招請等の誘致活動を連携して行っています。

国95の医療機関から検体を受け入れるまでに拡大しており、日本における難病の早期発見、重篤化防止に貢献しているところです。

## DNA研の研究成果

**要望** かずさDNA研

究所の研究成果の実用化の

現状はどうか。

商工労働部長 かずさ

現状はどうか。

通り、県内へのMICE誘致に

層努力するよう要望します。